ぐんまこどもの国児童会館

にこっと通信

nicotto tsu-sin!

2011.10.15
第35号
発行／公益財団法人群馬県児童健全育成事業団

10月16日（日）群馬県内児童館フェスティバル開催！

こども観劇会
くわえ・ぱぺっとステージ「ともだちはブブとトト」

日時 10月28日(金・群馬県民の日)
11:30～／14:30～(各回約60分)

会場 多目的ホール

定員 各回200名

可愛くておちゃめなコブタのブブとお魚のトトが繰り広げる楽しい人形劇。

ゆかいな虫たちが登場するエプロンシアター「のはらであそぼ」も同時上演。

プラネタリウム新番組

上映期間 2011.9/17(土)▶2012.4/15(日)

上映時間：平日 15：30～　土日祝日（冬休み）13：00～ /15：00～

総観覧者数100万人を突破した「銀河鉄道の夜」スタッフが送る新番組。
何千年も受け継がれてきた星座は、わたしたちに何を語りかけてくれるのか。星空のもと、太古の昔から未来へとつながる私たち人類の想いと神話の世界がプラネタリウムドームいっぱいに広がります。

■監督・CG・脚本／KAGAYA　■音楽／姫 神　■主題歌／ORIGA　■ナレーター／水樹 奈々

公式サイト http://www.starrytales.jp/index.html

©KAGAYA Studio

水樹 奈々

第20回 ぐんまこどもの夢大賞 入選作品展

期間 11月13日(日)～11月27日(日)
会場 ぐんまこどもの国児童会館　3階ギャラリー、第1研修室

期間 12月3日(土)～12月12日(月)
会場 群馬県庁　32階展望ホール

ぐんまこどもの夢大賞は、絵画と童話の作品を毎年夏休み期間中に募集していますが、今年で20回を迎えました。これまで作品をかいてくださったみなさん、ありがとうございます。

そして今年もたくさんの夢あふれる作品をご応募いただきました。入選作品展では最優秀賞、金賞、銀賞、銅賞、奨励賞に輝いた作品を当館と、群馬県庁の展望ホールで展示します。子どもたちの自由で夢のある作品を、ご家族でご覧下さい。

休館日
10月… 3日(月)・11日(火)・17日(月)・24日(月)・31日(月)
11月… 7日(月)・14日(月)・21日(月)・28日(月)
12月… 5日(月)・12日(月)・19日(月)・26日(月)
年末年始… 平成23年12月29日(水)～平成24年1月3日(火)

ぐんまこどもの国児童会館
〒373-0054　群馬県太田市長手町480
TEL. 0276(25)0055　FAX.0276(25)0059
URL　http://www.kodomonokuni.or.jp/

不破先生の速く走る!短距離教室

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋。何をするにも過ごしやすい季節になりましたね。運動会や、マラソン大会など、スポーツに関する催しも目白押しです。

そこで、一足早く７月24日（日）に開催した、「不破先生の速く走る！短距離教室」の模様をご紹介します。

不破弘樹先生は、皆さんご存じ群馬県出身。1984年ロサンゼルスオリンピックに出場し、現在は上武大学陸上部のコーチをされています。この日は足を怪我されており、残念ながら走ることができないとのことでしたが、ユーモア溢れるお話と分かりやすい説明で、子ども達は楽しんで参加していました。

基本の姿勢

姿勢良く綺麗に立ちます。頭からおへそ、足までの軸はまっすぐです。

歩く

顔はまっすぐ前。出した足の上におへそと頭がのるようにします。頭とおへその軸はまっすぐです。

足を高く上げて歩く

片足を上げ、その足を下に踏み込み、反対の足をあげます。その時、ピタッととめます。

スキップ

この時も頭・おへそ・足の軸がまっすぐです。フラフラしないように。

スキップから走る

スキップ＝助走。スキップをしてから前を向いてダッシュ。

重心移動から走る

まっすぐに立って、前に倒れます。顔から落ちないように我慢して、重心移動で足を前に出してダッシュ。

変形ダッシュ

うつぶせからダッシュ。

不破先生は、全国の保育園や幼稚園、小学校や中学校でこのような教室を開催しているそうです。速く走ることが目的ではなく、「子ども達に走るコツを知ってもらいたい」、「コツを知って自信をつけてもらいたい」とおっしゃっていました。自信がつくと、走ることが好きになり、もっと速く走りたいという意欲がでてきます。そういった気持ちが大切だともおっしゃっていました。

走ることはスポーツの基本。ぜひみなさんもコツをつかんで楽しく走ってみませんか。

おもちゃの病院

●「おもちゃの病院」とは…

おもちゃの病院は、ボランティアの方々が壊れたおもちゃを修理する事業です。

一昔前までは、手作りのおもちゃが主体であり、また、壊れたおもちゃは直して使ったものですが、現代は、使い捨ての時代へと変化し、おもちゃは買うもの、壊れたら捨てるものといった風潮が強くなり、本来思い出がいっぱいつまっているはずのおもちゃへの愛情が薄くなりつつあるのではないでしょうか。

おもちゃの病院は、ものを大切にする気持ちとともに、子どもたちのおもちゃへの愛着を大事にして、優しさや豊かな情操を育んでいきたいと願いながら実施しております。

● 流れ

❶ 受 付

一家族２個までのおもちゃを受け付けます。

❷ カルテ記入

カルテに修理するおもちゃのことを記入します。

❸ 問 診

「悪いところはどこかな？」先生たちが見つけてくれます。

❹ 修 理

先生たちが一生懸命修理します。

❺ 返 却

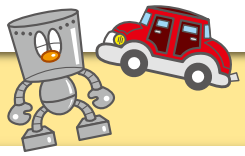
「どうかな？」「直ってるかな？」確認してもらってお返しします。

おもちゃの病院で扱うおもちゃは、小学生以下の子どものおもちゃで、家電製品に近いものや、玉が飛び出したり火を使うといった危険を伴うものはお断りしています。その理由は、高度なものや危険を伴うものは専門家（製造したメーカー）に依頼するのがよいとの考えからです。また、アンティークの人形やおもちゃについては、修理後に品物の市場価値に変動がある場合がありますので、ご注意ください。

おもちゃの病院にかかる前に

電池チェック

おもちゃの病院にかかるおもちゃで、電池の消耗が原因というものは約15％を占めます。電池の容量がどれくらい残っているのかは、目で見てもわかりませんので、電池チェッカーを使って調べるという方法を用います。最近は100円ショップでも売られていますので、ご家庭でも「チェック」してみてはいかがですか？



保証書や付属部品を忘れずに

おもちゃの病院におもちゃを持ち込む際、保証書や遊び方の書いてある箱は、一緒にお持ちになると助かります。

保証書や箱はなくしてしまいがちですが、メーカーの問い合わせ先などが書いてありますので、きちんと保管しておくことをおすすめします。

また、ゲーム機やバッテリーで動くのりもの等、アダプター、バッテリー、ゲームソフト等を忘れずにお持ちください。ゲームソフトをたくさんお持ちの方は、複数持ってきていただけるとゲーム機とソフトとどちらが原因なのかがはっきりします。

おもちゃの病院の開院日

☆ **開 院 日…** 10月23日、11月20日、12月18日、１月15日、２月19日、３月18日

※ すべて日曜日（毎月第３日曜日を中心に行っています。）

☆ **受付時間…** 10：00～12：00

※ おもちゃは、一度お預かりして修理します。修理が終わり次第お返しいたします。遊びながらお待ちください。

当日、修理が終わらない場合は入院となります。後日、電話にてご連絡します。

☆ **場　　所…** 研修室

☆ **費　　用…** 部品を交換するときのみ実費をいただきます。（500円以内）

ジュニアスタッフの夏休み

今年度のジュニアスタッフの活動が始まりました。30名の子ども達は毎回にぎやかで、違う学校の子どもとすぐ仲良しになりました。力をあわせたイベントも無事終了。学校ではできない体験ができた夏休みでした。ジュニアスタッフのみなさん、お疲れ様でした！

7／30(土)夏祭り

子ども達がポスター書きから本番まで、力を合わせて実施しました。

洋服を濡らしながらヨーヨー風船に水を入れたり、恥ずかしがっていた子も、「いらっしゃいませ～」「ソースせんべいおいしいよ～」と大きな声を出していました。

皆、「お客様に喜んでもらえてうれしかった」と目を輝かせていました。

8／6(土)～28(日)　妖怪屋敷

ジュニアスタッフが、受付係、おばけ役などに分かれ、連日大活躍してくれました。

初日は、怖がって「妖怪屋敷」の中に入れなかったジュニアスタッフも、白い衣装を着て前髪を落とし、カツラで変装したりでやる気満々。どんな風に驚かせようかと作戦をねっていました。

暗い竹林から握手を求めたり、もの悲しい声でご挨拶。また、お客様のうしろをついて行ったりで、会場のあちこちから悲鳴が響いていました。中でもブラックライトに照らされたおばけは迫力満点でした。

怖くて中に入れないお客様には、ジュニアスタッフが一緒に入ってあげました。「大丈夫だよ」と手をつないで案内したので、とても安心できたようで、子ども達も、昔子どもだった大人達にも、喜ばれていました。

グリーンカーテンをつくりました

こどもの国でも、この夏の暑さ対策と節電のため、ゴーヤのグリーンカーテンづくりに挑戦しました。

公園職員の方の協力で、児童会館と公園の事務所の南側に、竹製の本格的な棚を設置して、育てました。

７月初めに元気なゴーヤの苗を、良く肥えた土を入れたプランターに植えて、毎日たっぷりの水をあげました。日当たりも良かったので、夏の日差しを浴びてすくすくと育ち、８月中旬には見事なグリーンカーテンができあがりました。

実ったゴーヤは、朝収穫して、その日遊びに来た皆さんにお配りしました。お土産に持ち帰ったお友達は食べてみましたか？こどもの国で採れたゴーヤの味はいかがだったでしょうか？

児童会館の職員も、収穫したゴーヤでサラダを作ってみました。やっぱり苦かったですが･･･、手塩に育てたゴーヤは美味しかったです。

また来年も挑戦します！もっと大きくて美味しいゴーヤを皆さんにお届けできるように工夫しようと思いますので、どうぞお楽しみに!!

夏のサイエンスショー

夏休みになると児童会館にはこんなお電話がかかってきます。「何か夏休みの宿題のヒントになるような催しはありませんか？」そんな声にお応えして児童会館では造形教室や、サイエンスショー･お楽しみイベントなどを多数開催しています。今回はその中から夏に開催したサイエンスショーをご紹介します。来年も、夏休みの宿題のヒントになるようなイベントを開催したいと考えています。どんなイベントになるかはお楽しみ！是非、早めにチェックして参加してみてはいかがですか？

7/23(土)

SP(スペシャル)サイエンスショー「あれこれ音っと」

音をテーマにした実験と工作をしたよ！

■講師
月僧 秀弥　氏
(2009年科学の鉄人2位)

7/24(日)

SP(スペシャル)科学工作「ゴムで動くレーシングカー」

500mlのペットボトルと輪ゴムでレーシングカーをつくりました！参加者はやっぱり男の子が多かったね！

■ゲスト
小暮 卓史　氏
(群馬県出身レーシングドライバー)

8/7(日)･20(土)

科学講座「生き物のすみかを作ろう大作戦!!」

2回で1コース！暑い中がんばりました！なんとゲンジボタルの幼虫がすみついていました!!

■講師
小島　昭　氏
(群馬工業高等専門学校　物質工学科特命教授工学博士)

8/18(木)

太田工業高校の生徒による「ロボット教室～昆虫型ロボットを作ろう！」

今年で3回目！とっても人気の講座です！回路の組み立てや、ハンダ付けなど本格的な科学工作です